

研究に関する情報公開文書

研 究 課 題 名	当院での低用量エストロゲン・プロゲスチン配合剤内服患者の満足度調査
研 究 の 内 容	【目的】月経困難症は月経時あるいは月経前からの強い下腹部症状を主症状として腰痛、嘔気、頭痛、疲労感、倦怠感、食欲不振、イライラ感や憂鬱感などの症状を認めます。 月経困難症は子宮筋腫や子宮内膜症などの器質的疾患が原因となる器質性月経困難症と器質的疾患を認めない機能性月経困難症に分類されます。 低用量エストロゲン・プロゲスチン配合錠(LEP)は機能性月経困難症と器質性月経困難症のどちらに対しても保険適応があり、当科でも多くの患者さんに日常的に処方している薬剤です。 今回、LEP 内服の実態と満足度を調査するとともに今後のさらなる満足度向上のために取り組むべき課題を抽出する目的でアンケート調査を行いました。 【方法】 ●対象となる患者さん 2025 年 1 月 15 日から 3 月 28 日までに当科にて処方した LEP 製剤内服中の患者さんにアンケート用紙を配布し、アンケート用紙の返却があった患者さん 対象の薬剤：ルナベル配合錠 LD(後発品のフリウエル配合錠 LD 含む)、ルナベル配合錠 ULD(後発品のフリウエル配合錠 ULD 含む)、ジェミーナ配合錠、ヤーズフレックス配合錠の 4 種類 ●利用する検体、カルテ情報 アンケート用紙の回答の内容 生年月日の記載がある患者さんは院内カルテで検索し服用している薬剤、期間、臨床検査結果を参照します 【外部への資料・情報提供】 なし；自施設のみで使用 【利用範囲】 本研究結果が公表される場合にも、研究対象者個人を特定できる情報を含みません。また、本研究の目的以外に、本研究で得られた情報は利用しません。

	【研究組織】 研究代表者：名寄市立総合病院 産婦人科 野澤 明美 研究担当者：名寄市立総合病院 産婦人科 林 萌恵 【問い合わせ先】 本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 照会および研究への利用を拒否する場合の連絡先 担当者：名寄市立総合病院 産婦人科診療部長 野澤 明美 住所：〒096-8511 名寄市西7条南8丁目1 TEL：01654-3-3101
--	--